

矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。
新型コロナウイルス感染拡大を受け、市議会として4月と5月、2度の臨時議会を開催。国の交付金を活用した支援メニューの実行や、小規模事業者臨時給付金やかわさき地元応援券などの市独自施策を議論してきました。矢沢たかお事務所としても、国県市それぞれの支援制度をまとめた資料を独自に作成し地域に配布。多くの相談を承っております。今回は先の臨時議会や市議会第2回定例会の内容を中心にご報告致します。

NEWS



Photo: あぐりっこ農園にて収穫できた野菜
Vol 19
2020 June
~
2020 August
討議資料

第4回定例会での質問 2項目

1 新しい宮前市民館・図書館基本計画(案)について

Q 本年5月29日に、新しい宮前市民館・図書館基本計画(案)が公表された。施設規模は、「現在の宮前市民館・図書館と同規模とすることを基本とする」とあるが、現施設と比較してアクセス性を向上させることができることもある。利用者の大幅増が見込まれるが、どのように利用者満足度の向上を図るのか伺う。

また、鷺沼駅は少し歩けばすぐ横浜市といった市境に近い場所となっている。宮前区の人が満足に使えないといった施設とならないようソフト面での検討が今から必要と考える。見解と今後の取り組みを伺う。

A 利用者の増加の見込みについては、再開発事業に伴い移転した中原市民館では、諸室の利用率が約1.3倍、中原図書館では、入館者数が約1.8倍となった実績があり、現時点において、新しい宮前市民館・図書館についても、同程度の利用者の増加を想定している。

また、多様なニーズや利用者の増加への対応については、フリースペースや子ども等の居場所、閲覧スペース等の新規・拡充スペースを創出する必要がある。その為、現在の施設の利用状況等を踏まえた諸室の規模の適正化をはじめ、市民館と図書館との融合による諸室の多目的化等とともに、開館時間の延長等による幅広い利用者層に対応した事業・サービスの推進策等について、検討を進めていく。

また、立地性を踏まえた利用者へのサービス提供については、市民意見聴取や他都市の状況把握等による新たな事業・サービスのあり方を幅広く検討する中で、考え方を整理していく。

2 新型コロナウイルス感染症に係る支援 区内交差点の安全対策について

QRコード読み取りで
詳細内容が確認できます



日々、どういった活動をしているの? 矢沢たかおの 日々の活動

活動の一部を
写真で紹介します
令和2年2020
5月 ▶ 8月



新型コロナ支援わかりやすいメニュー一覧

4月7日公示緊急事態宣言後、多くの新型コロナ支援が国県市から発表され急速に制度創設されていました。市民目線でのわかりやすく一覧化された支援メニューが必要と考え、独自に資料作成し3万5千世帯に配布したところ、多くの感謝と激励のお声を頂きました。本当にありがとうございます。支援メニュー一覧はその後、更新を重ねております。事務所へお問い合わせ頂ければご案内等させて頂きます。また当方ホームページからでも確認できますのでご活用ください。



※実際に作成配布した資料



川崎
主な議会
スケジュール

4月
・第2回臨時議会
・各種委員会

5月
・第3回臨時議会
・各種委員会

6月
・第4回定例会
・各種委員会

7月
・各種市内団体
ヒアリング
・各種委員会

8月
神奈川県後期
・高齢者医療広域
連合議会定例会
・各種委員会

9月
・第5回定例会
・決算審査特別委員会
・各種委員会

第4回川崎市議会 定例会のご報告

川崎市議会定例会 第4回定例会 ご報告

代表質問

自民党川崎市議会議員団を代表して野田雅之議員（幸区選出）が6月10日、市政全般について代表質問を行いました。新型コロナウイルス感染症の対応等、主な内容をご報告します。



上：山崎直史議長
下：野田雅之議員

児童生徒に11万7,058台パソコン支給 「GIGAスクール構想」

- Q. 端末をリース方式にする理由、故障や不具合時の保守の対応は。
A. 費用の平準化、端末機器の耐用年数、必要な保守及び保険の要素を考慮し、保守業務を契約に付帯した。
Q. スケジュールについて。遠隔教育実現の通信環境整備についても。
A. 8月～9月に入札予定。緊急時の家庭でのオンライン指導環境の整備に向けて検討を進めている。
Q. 端末のセキュリティ対策は。
A. 作成データを端末に保存できない制御やフィルタリング等行う。
Q. ICT支援員等、人材確保をどの様に行うか。また、教員向けの研修は。
A. GIGAスクールサポーターの配置を検討。専門業者による操作、活用研修を検討するとともに総合教育センターでの集合研修や各学校への訪問研修、オンライン研修などを実施する。
Q. 授業に於ける個別学習アプリ等の活用をどう図っていくか。
A. ICTを活用した各教科等の授業の参考となる効果的な学習場面を示した事例集の作成等を進めている。

新型コロナウイルス感染症対策等に関する川崎市補正予算

項目		
その1	21億2,505万円	前年同期比30～50%減収した小規模事業者へ10万円支給、東京交響楽団を無料のウェブコンサートなどで支える音楽のまち・かわさき応援事業など
その2	82億2,614万円	新型コロナウイルス感染症対応に当たる病院の入件費補助、保育施設が子ども用マスクや消毒液を購入する経費補助など
その3	27億4,600万円	感染2波対策として避難所に間仕切り、福祉施設の衛生用品備蓄補助、市立学校の特別教室に冷房設置、非接触型体温計整備、家賃補助予算増額など

感謝!!
月間
10万PV
達成!!

BLOG

人気記事 ランキング

矢沢たかお 検索

詳しくはホームページからご覧下さい。

1位

緊急経済対策「川崎じもと応援券」
がなぜ問題なのか



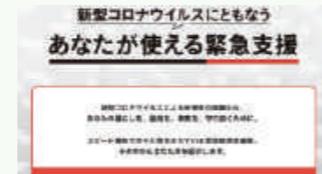
2位

マスク着用に関する学校指導
内容が変更!～学校の新しい生活様式(2020.8.6 Ver.3)～



3位

特別定額給付金(10万円給付)
に関するQ&A



矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(35歳) ●川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業 ●平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
・平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・平成31年二期目当選
●趣味:剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道毛筆三段 硬筆二段 ●家庭:妻・息子

避難所の感染症拡大対策事業費について

6月12日に国の「令和2年度第2次補正予算」が可決・成立したのを受け、川崎市議会は第4回定例会を延長。市の補正予算も審議が行われ、6月24日に可決しました。その中の一部を報告させて頂きます。



事業費の内訳は?

まず「新型コロナウイルス感染症拡大対策事業費」について、今後懸念される「第2波」に備え、必要物品の整備に充てる予算として事業費2億5千万円の内訳について質問しました。また、風水害へのリスクも高まる季節の到来を前に喫緊の危機管理課題となっている「感染症予防のための避難所への備品配備の内容」について伺いました。危機管理監は予算の内訳について「避難所用備蓄用品に約4千万円、公共施設等備蓄用品として約1千万円を計上すると共に、第2波等に備え緊急に必要な取組を機動的に実施するための予算として2億円」と答弁。避難所への備品配置については「感染症対策としてマスクや手指用消毒液など基本的な衛生物品のほか、発熱や咳など症状がある人の密、を避けるべく、パーテーションでくぎったり、テント等の配備を検討しているほか、簡易ベッドや使い捨てのアルミプランケットの導入も検討している」といった説明がありました。

第2波への備え、今後も

さらに「避難所対応以外の使途の想定や有事の際の意思決定プロセス、金額規模の妥当性」について見解を質しました。危機管理監は、具体的な要請を待たなくとも、避難所や避難者への支援を中心に必要不可欠と見込まれる物資を調達できる『プッシュ型』と呼ばれる支援を実施するため「各区局に照会し、必要な備蓄品や取組を把握した上で(予算を)執行していく」「予算執行時は関係局との協議を経て市長、副市長へ諮り決定する」と回答。さらに金額規模については「市内4千程度の福祉施設等にマスクや消毒液等を配布する事を可能とする見込み額」との説明がありました。

第2波への備えについては、日々刻々と変化する状況を把握し、しっかりととした対策を講じるよう今後も議論を続けてまいります。9月1日から始まる第5回定例会においては、第2波を考慮した第4次緊急経済対策を検討して参ります。

鷺沼駅周辺再開発事業について



鷺沼駅周辺再開発事業に関する状況等について質問。

当初、本年4月から6月に予定されていた事業者による環境アセスメント準備書の説明会は、新型コロナウイルス感染症対策を勘案し、7月17日(金)～19日(日)3回に分けて実施することが決まりました。

これまで我が会派は、想定される交通渋滞を可能な限り緩和させる意味でも、地下通路の活用等の歩車分離対策を含め、抜本的な交通渋滞対策や駐車待ちの滞留車両対策を求め続けてきました。検討状況を伺ったところ、市からは「歩行者の安全性や利便性の向上、交通流の円滑化などに向け、地下通路などの整備による歩車分離が図られるよう、準備組合と調整を行っている」との答弁がありました。

また、再開発事業にあわせた駅舎自体の改修及び、商業施設等と直結する地下改札口の可能性を質したところ、市からは「現在、東急から意向は示されていないが、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、利便性向上等の観点から、地下改札の整備も含めた鉄道施設のあり方の検討を要望していく」との答弁がありました。

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください!

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail (新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

<https://www.yazawa-t.jp/>

[twitter](#) [facebook](#) [Instagram](#)

